

2021 年 12 月 15 日

*** 2022 年（令和 4 年） ***

ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション(社長:伊藤 秀)は、日本独特のお正月の習慣であり、書き文字文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスマン・OL の年賀状に関するアンケート調査』を行っています。年賀状は、普段会えない人へのコミュニケーション手段として、様々なツールが登場しても、今なお一定の支持を集めています。今回で 42 回目となる本調査は、ビジネスパーソンを対象に、11 月 17 日（水）から約 3 週間にわたり調査を実施しました。

主な調査結果は以下の通りです。

【主な調査結果】

1. 年賀状を「出す」人は昨年より増加。「新年の挨拶」や「コロナ禍」による無沙汰が増加の理由。年賀状の投函は半数がクリスマス頃を予定。
2. 新年の挨拶は「LINE 等メッセージアプリ」が人気だが、年賀状は増加し、一定の支持を獲得。
3. 年賀状を出す枚数は「43 枚」で引き続き減少傾向だが、「直筆で挨拶を伝えたい」、「なかなか会えないので年賀状くらいは出したい」という声も。
4. 年賀状を出す相手は「友人・知人」が多数。出たくない相手は「仕事関係」が上位に。
5. 年賀状をもらってうれしいのも「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント入り」で、添えられたメッセージの内容に関心あり。
6. 年賀状を出す人の多くは「手書き箇所あり」。年賀状の手書きは相手への気持ちを伝える方法。
7. 「年賀状が必要」という声は減少傾向だが、やはり「もらってうれしい」年賀状。

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2021 年 11 月 17 日(水)～12 月 8 日(水)

サンプル数(概数) : 381 人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20 代	26	54	80
30 代	40	59	99
40 代	57	31	88
50 代	31	31	62
60 代	25	27	52
計	179	202	381

調査対象 : 企業・団体等に勤務する 20 代～60 代のビジネスパーソン

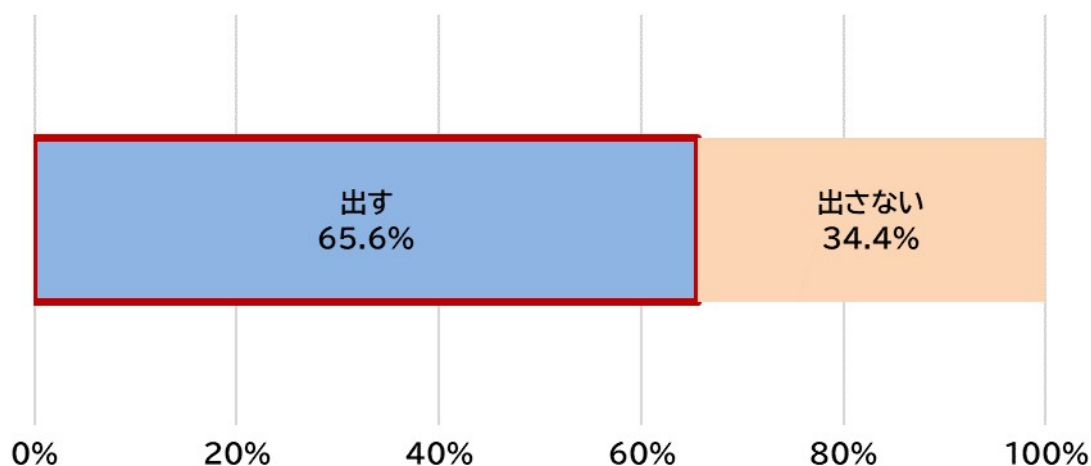
調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

- * 集計データのうち、注釈なきものは、すべて単数回答を百分率化しました。
- * 単一回答でも小数点の都合上、合計値が 100%にならないものもあります。
- * 複数回答可の設問では、合計値が 100(%)を超えます。

1. 年賀状を「出す」人は昨年より増加。「新年の挨拶」や「コロナ禍」による無沙汰が増加の理由。年賀状の投函は半数がクリスマス頃を予定。

2022 年の年賀状を出すかどうかを尋ねた＜年賀状の予定 1-1＞では、2022 年は年賀状を「出す」と答えた人は 65.6%となり、前回 2021 年調査の 60.8%から 4.8 ポイント増加となりました。

1-1 来年、年賀状(郵便)を出す予定ですか？ (単一回答 N=381)

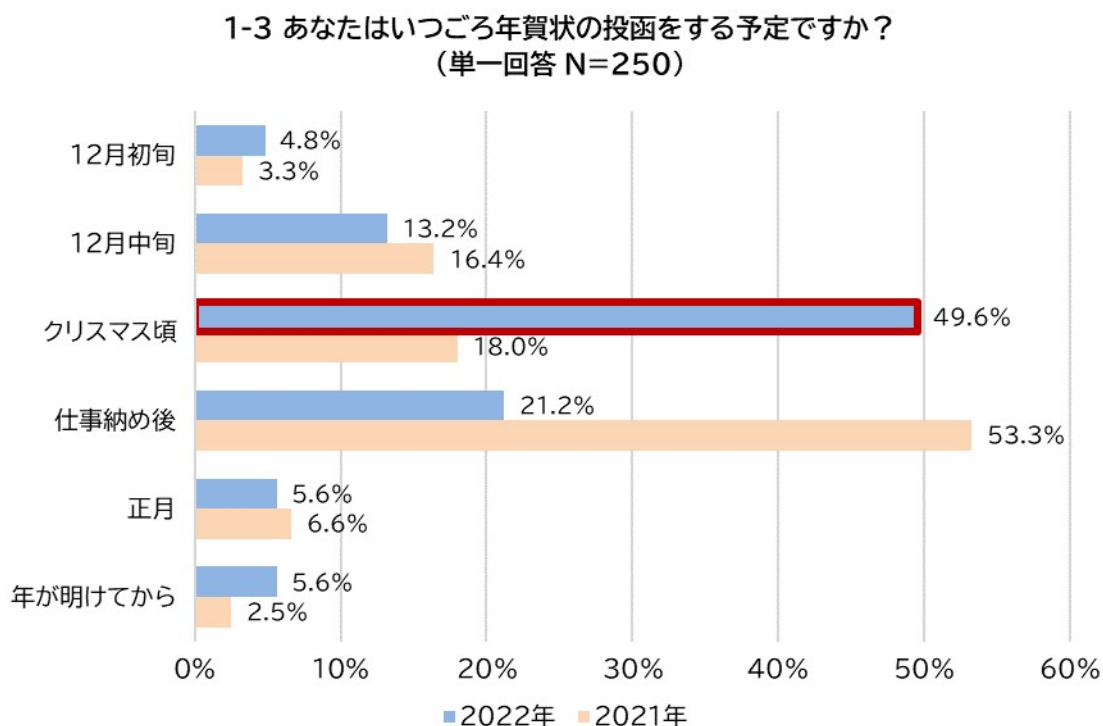


＜年賀状を出す理由 1-2＞では、「新年の挨拶として」(84.8%)、「日頃、御無沙汰しているので」(43.2%)が上位になり、次いで、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、「コロナ禍で会えていないので」(40.0%)が数を集めました。2022 年年賀状は出す予定の人が増えたという結果からも、コロナ禍で日頃なかなか会えない人への挨拶として年賀状を活用する傾向がうかがえます。

一方、＜年賀状の予定 1-1＞で、年賀状を「出さない」と答えた人に＜年賀状を出さない理由 1-2＞を聞いてみると、「LINE 等メッセージアプリで代用」(64.9%)、「準備が面倒」(58.8%)が上位に入りました。

1-2 年賀状を出す理由(N=250)、出さない理由(N=131) 複数回答				
出す理由			出さない理由	
第1位	新年の挨拶として	84.8%	LINE等メッセージアプリで代用	64.9%
第2位	日頃、御無沙汰しているので	43.2%	準備が面倒	58.8%
第3位	コロナ禍で会えていないので	40.0%	メールで代用	36.6%
第4位	毎年、年賀状をもらうので	38.4%	忙しくて用意できない	23.7%
第5位	お世話になっている(なった)ので	25.2%	SNSで代用 (Facebook,twitter,instagram等)	15.3%
第6位	習慣で・なんとなく	23.2%	出す習慣がない	10.7%
第7位	近況報告	18.4%	郵便代などコストがかかる	9.9%
第8位	親しさを表すしるしとして	15.6%	相手の住所がわからない	9.9%
第9位	年賀状をもらうのが好き	12.8%	出す相手がいない	5.3%
第10位	手紙をやり取りする貴重な機会	12.4%	喪中	5.3%

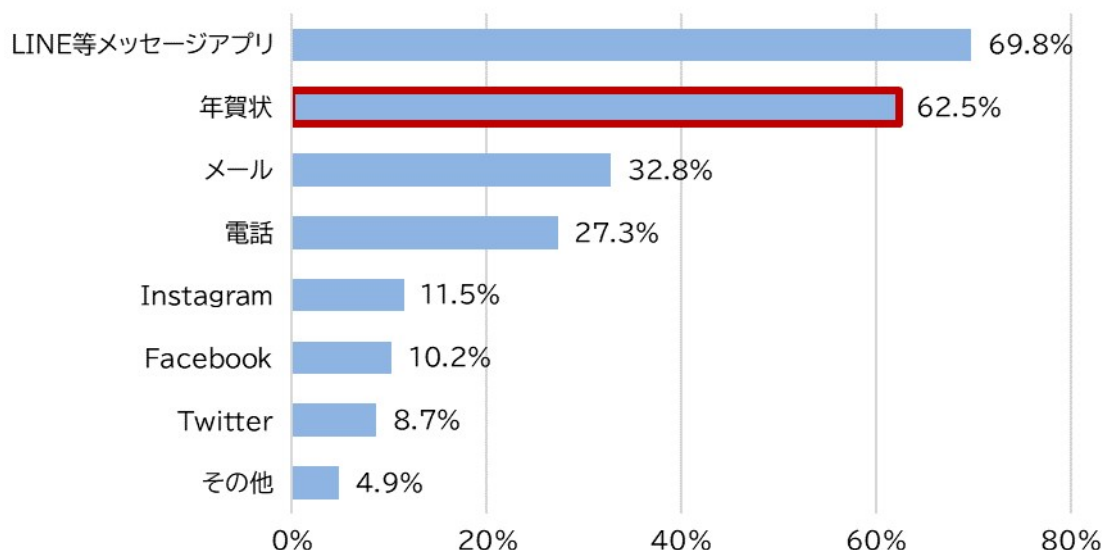
また、年賀状を「出す」人に＜年賀状を投函する時期 1-3＞を聞いたところ、昨年は「仕事納め後」(53.3%)が最も多い結果でしたが、**今年は半数近い人が「クリスマス頃」(49.6%)までに投函すると回答し**、昨年より早めの投函を予定していることがわかりました。



2. 新年の挨拶は「LINE 等メッセージアプリ」が人気だが、年賀状は増加し、一定の支持を獲得。

＜新年の挨拶で活用するツール 2-1＞について尋ねたところ、順位は昨年同様、「LINE 等メッセージアプリ」(2022 年:69.8% 2021 年:76.3%)がトップになりましたが、「年賀状」(2022 年:62.5% 2021 年:59.9%)は数字を増やし、「LINE 等メッセージアプリ」に肉薄してきました。

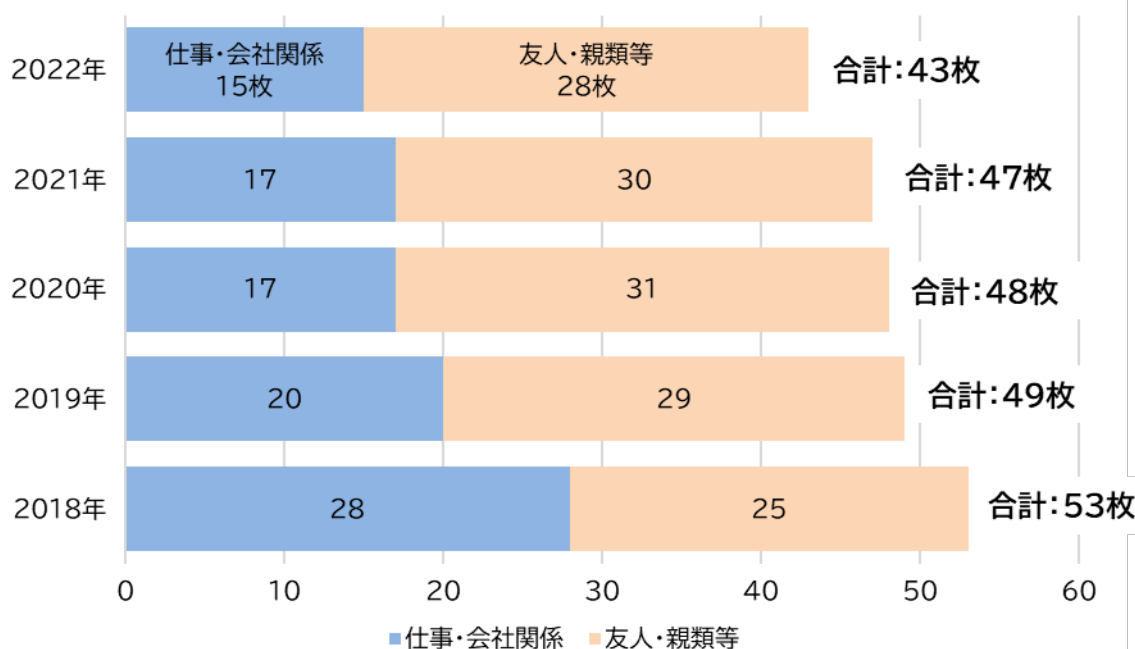
2-1 新年の挨拶であなたが活用するものはなんですか？
(単一回答 N=381)



3. 年賀状を出す枚数は「43 枚」で引き続き減少傾向だが、「直筆で挨拶を伝えたい」、「なかなか会えないので年賀状くらいは出したい」という声も。

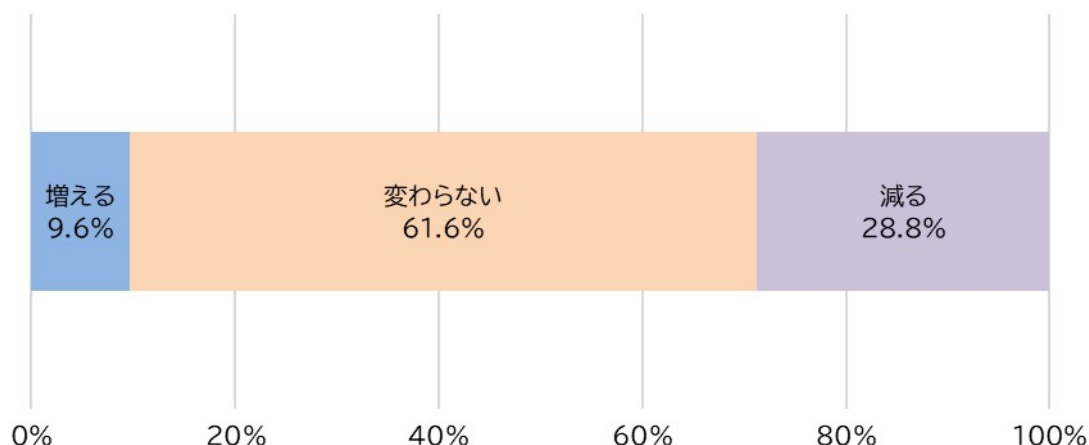
＜年賀状を出す枚数 3-1＞は、平均「43 枚」となり、5 年連続の減少となりました。年賀状を出す意向は高まっても、枚数の減少傾向は変わらないようです。なお、今回の調査での年賀状を出す予定枚数の最多は 40 代男性の「250 枚」となりました。

3-1 年賀状の枚数は、何枚くらいを予定していますか？
(数値自由回答 N=250)



＜コロナ禍前と比べて年賀状を出す枚数はどう変わるか 3-2＞という質問では、多くの人が「変わらない」(61.6%)と回答し、「減る」(28.8%)と答えた人も 3 割弱いることがわかりました。「費用がかかるため(減る)」(20代・女性)、「SNS で連絡を取っているので(減る)」(30代・女性)という声がある一方、「直筆で挨拶を伝えたい」(40代・男性)、「なかなか会えないので年賀状くらいは(出したい)」(40代・男性)という声が聞かれました。

3-2 コロナ禍前と比べて、年賀状を出す枚数はどうなる予定ですか？
(単一回答 N=250)



4. 年賀状を出す相手は「友人・知人」が多数。出したい相手は「仕事関係」が上位に。

＜年賀状を出す相手 4-1＞は、「友人・知人」(94.8%)が**トップ**になり、「親類関係」(77.2%)が続き、次いで、「会社等の上司」(32.8%)がランクインしました。「学生時代の先輩・後輩」(21.6%)、「恩師・恩人」(18.0%)など、日頃なかなか会えない人も上位に入りました。

4-1 誰に年賀状を出しますか？（複数回答 N=250）		
第1位	友人・知人	94.8%
第2位	親類関係	77.2%
第3位	会社等の上司	32.8%
第4位	学生時代の先輩・後輩	21.6%
第5位	恩師・恩人	18.0%
第6位	会社等の同僚	16.8%
第7位	取引先	8.0%
第8位	息子・娘	6.7%
第9位	年賀状友達	5.6%
第10位	部下	2.4%

一方、＜できれば年賀状を出したくない相手 4-2＞は、「取引先」(38.3%)と「出したい人はいない」(38.3%)が同数で**トップ**になりました。また、「会社等の上司」(37.5%)も昨年から大きく数字を伸ばし、3 位にランクインしました。上位 5 項目が仕事関連であることから、仕事関連の相手には年賀状を出したくないという意向がうかがえます。

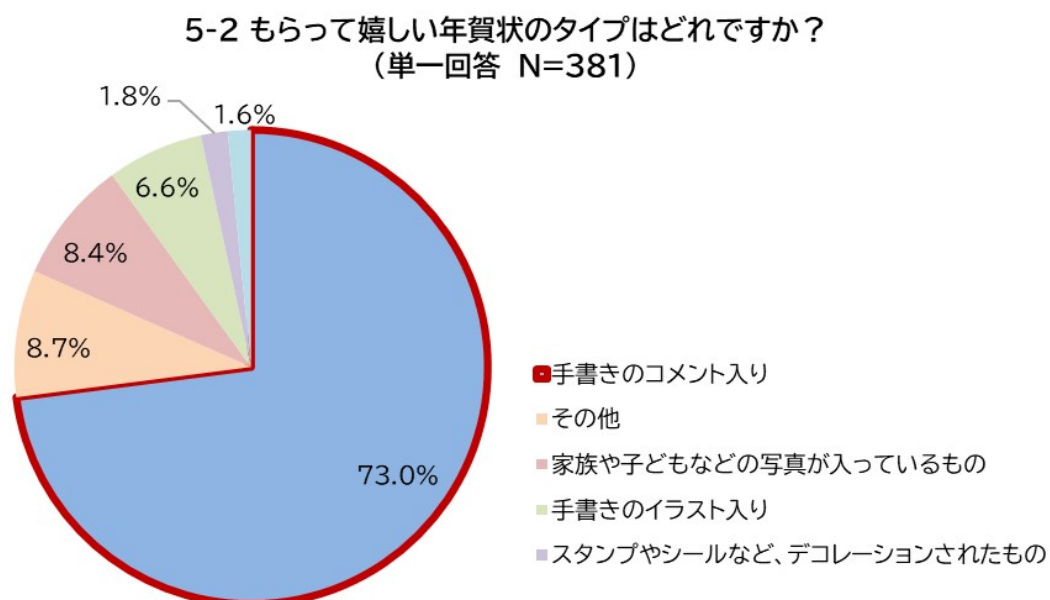
4-2 できれば年賀状を出したくないのは、誰ですか？(複数回答 N=381)			参考:2021年
第1位	取引先	38.3%	20.2%
第1位	出したくない人はいない	38.3%	50.9%
第3位	会社等の上司	37.5%	25.9%
第4位	会社等の同僚	19.7%	23.9%
第5位	部下	12.6%	15.7%
第6位	親類関係	5.0%	7.0%
第7位	友人・知人	1.6%	5.7%
第8位	年賀状友達	1.6%	4.7%
第9位	その他	1.6%	-

5. 年賀状をもらってうれしいのも「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント入り」で、添えられたメッセージの内容に関心あり。

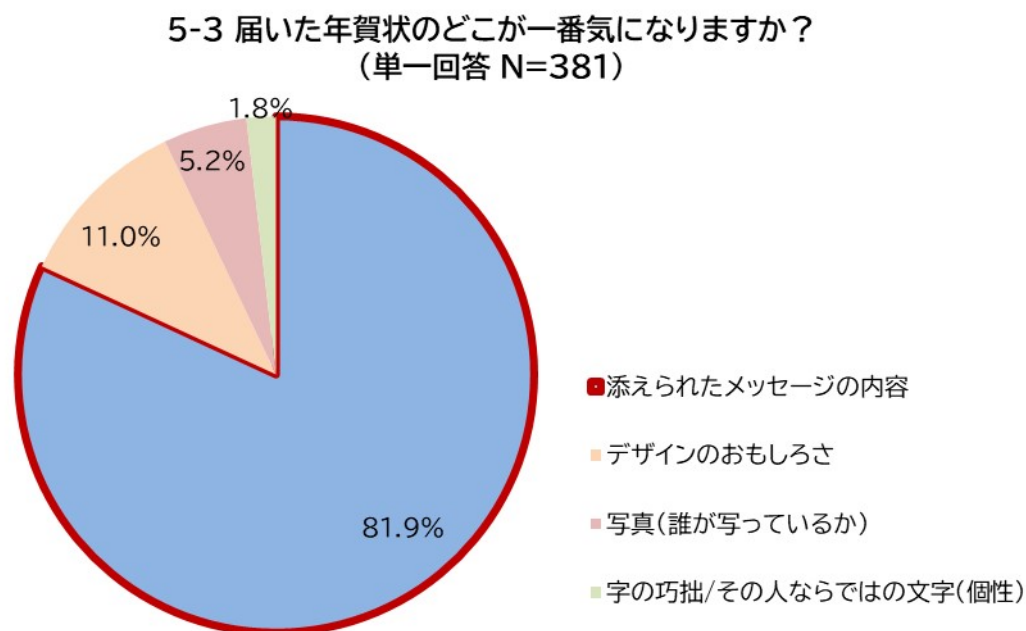
＜年賀状をもらって一番うれしい相手 5-1＞を聞いてみると、＜年賀状を出す相手＞と同様に「友人・知人」(74.5%)がトップで、次いで「親類関係」(10.8%)、「特にいない」(5.0%)となりました。

5-1 誰からもらう年賀状が一番嬉しいですか？(単一回答 N=381)		
第1位	友人・知人	74.5%
第2位	親類関係	10.8%
第3位	特にいない	5.0%
第4位	恩師・恩人	1.8%
第5位	学生時代の先輩・後輩	1.6%
第6位	会社等の同僚	1.6%
第7位	取引先	1.6%
第8位	年賀状友達	1.6%
第9位	その他	1.6%

また、＜もらって一番うれしい年賀状のタイプ 5-2＞を聞いてみると、「手書きのコメント入り」(73.0%)がトップになり、手書きコメント入りの年賀状のニーズが高いことがわかります。

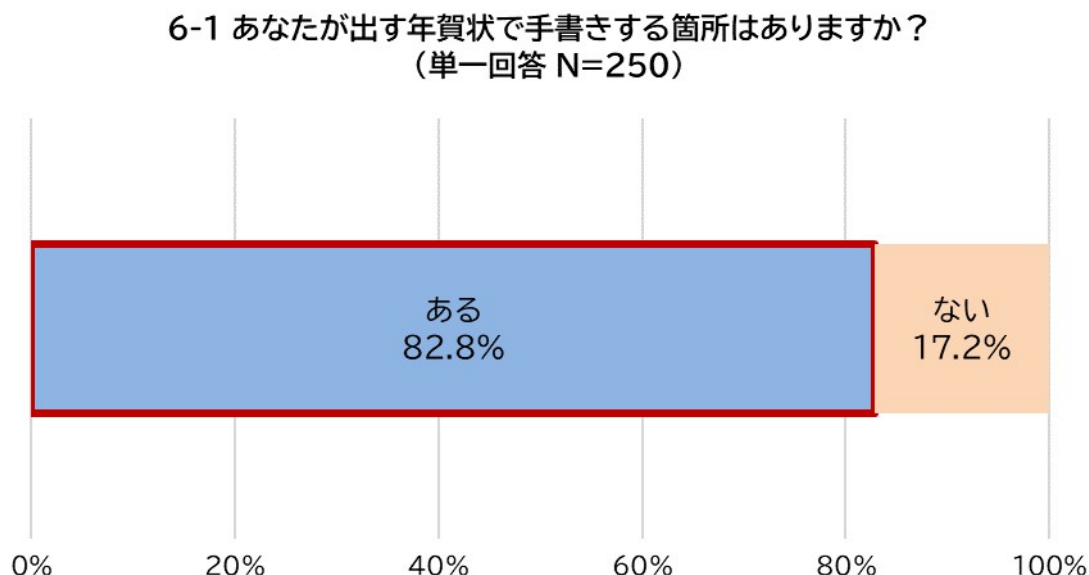


＜年賀状をもらって一番気になるところは何か 5-3＞については、「添えられたメッセージの内容」(81.9%)が多くを占めました。5-2 から、年賀状は「手書きでメッセージを添える」タイプが人気であるようです。



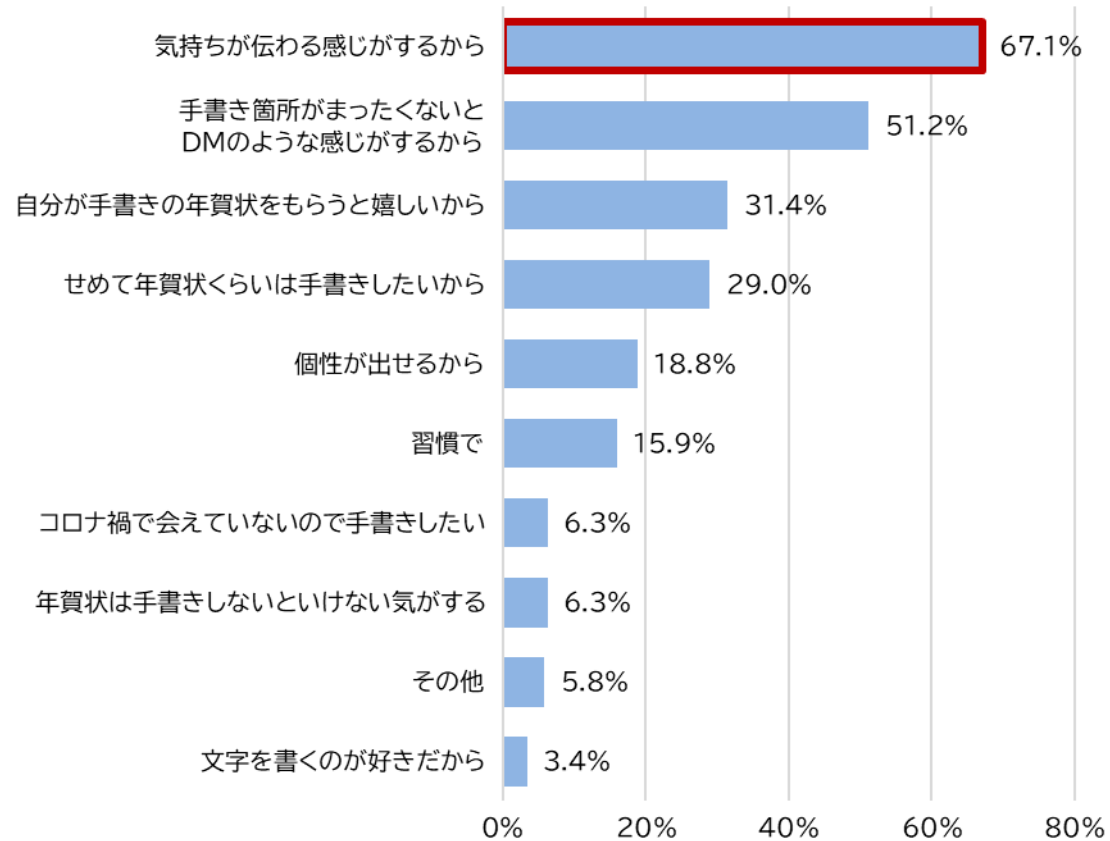
6. 年賀状を出す人の多くは「手書き箇所あり」。年賀状の手書きは相手への気持ちを伝える方法。

＜年賀状の手書き箇所の有無 6-1＞を聞くと、82.8%の人が「手書き箇所がある」と答えました。5-2、5-3 からもらってうれしい年賀状のタイプは「手書きでメッセージを添える」ことがわかりましたが、年賀状を出す人の多くは手書き箇所を年賀状に入れているようです。



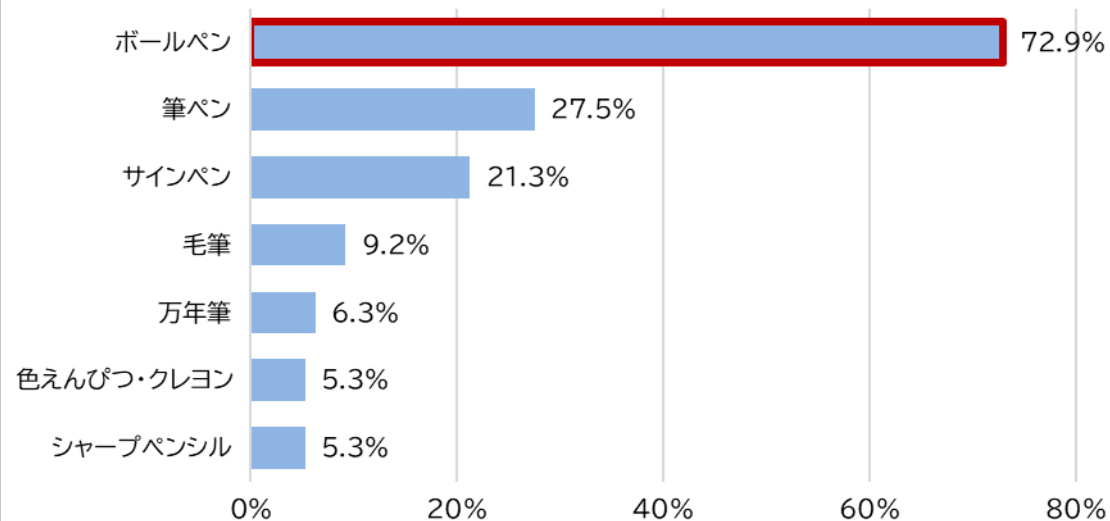
また、＜手書き箇所がある 6-1＞と答えた人に、＜手書きする理由 6-2＞を聞くと、「気持ちが伝わる感じがするから」(67.1%)、「手書き箇所がまったくないと DM のような感じがするから」(51.2%)と回答し、手書きの年賀状で気持ちを伝えたいという傾向が見られました。

6-2 あなたが年賀状を手書きする理由は何ですか？ (複数回答 N=207)



また、＜年賀状の手書きに使う筆記具 6-3＞を聞いてみると、バリエーション豊富で日常的に使用する機会も最も多い「ボールペン」(72.9%)が圧倒的な支持を集めました。次いで、「筆ペン」(27.5%)、「サインペン」(21.3%)が入り、年賀状では筆ペンを使う人が多いことが分かりました。

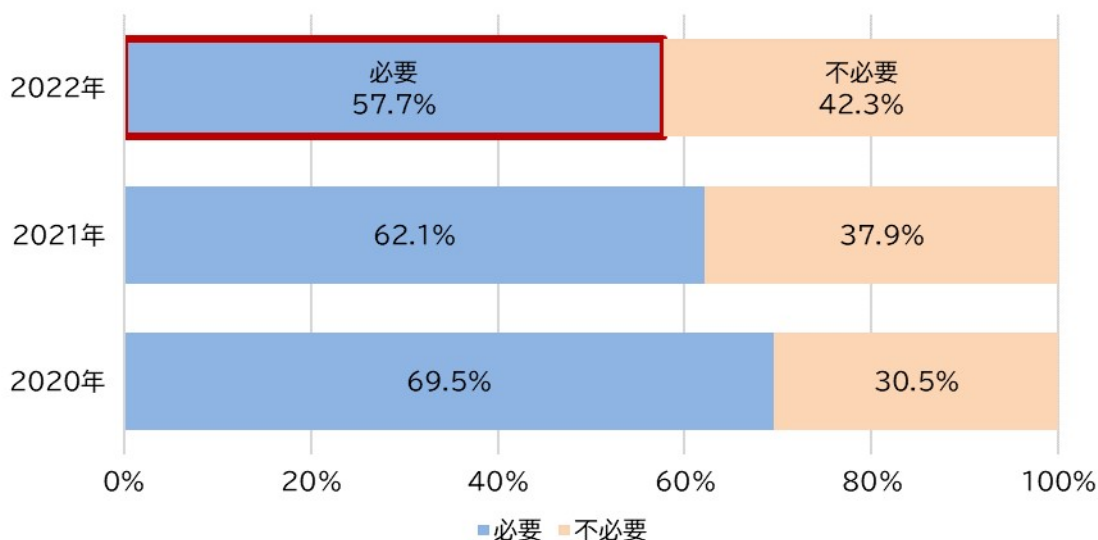
6-3 あなたが年賀状の手書きに使う筆記具は何ですか？ (複数回答 N=207)



7. 「年賀状が必要」という声は減少傾向だが、やはり「もらってうれしい」年賀状。

＜今後、年賀状の習慣は必要か 7-1＞について尋ねたところ、57.7%の人が「必要」と答え、2020年から3年連続で減少している結果となりました。

7-1 今後、年賀状の習慣は必要だと思いますか？
(単一回答 N=381)



また、それぞれの理由を聞いてみると、「必要」と答えた人の中で、「年賀状をもらって嬉しい」(59.1%)、「会えない人との連絡が途絶えてしまい困る」(40.9%)、「お正月らしくなくて寂しい」(34.5%)という声がありました。年賀状をもらってうれしいのはもちろん、日頃の無沙汰や年末年始の風物詩として年賀状を大事に思う人がいる様子がうかがえます。

7-2 年賀状があった方がいい理由 (複数回答 N=220)		
第1位	年賀状をもらって嬉しい	59.1%
第2位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困る	40.9%
第3位	お正月らしくなくて寂しい	34.5%
第4位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそうで心配	26.8%

「不必要」と答えた人の理由を聞くと、別の手段で代用できることや準備の手間やコストを理由に「不必要」と考えていることがわかります。

7-2 年賀状がなくてもいい理由 (複数回答 N=161)		
第1位	SNS等別の手段で新年の挨拶をおくるので問題ない	60.2%
第1位	準備する手間が省けて楽になる(時間やコスト等)	60.2%
第3位	「出すor出さない」といった人間関係で悩まなくてすむ	47.8%
第4位	クリスマスカードなどで兼用	4.3%
第5位	相手の住所がわからない	4.3%
第6位	その他	4.3%